※令和４年度以降入学生用

学校番号	１１１

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	アンサンブル	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等	自主作成プリント等						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽をつくること」「音楽を聴くこと」の４つの分野を年間通して学習します。
・学習の到達度は、授業で配付するワークシートや実技テストで評価します。
・音楽の学習は、クラスメートとともに実際にやってみて、試してみてこそ価値あるものとなり、そうして感性が豊かになります。
・少人数アンサンブル音楽の楽しみ方を知り、自ら音楽に関わっていける力をつけていきます。

２　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を次のとおり育成することをめざす。

（１）曲想と音楽の構造や文化的、歴史的背景との関わりや音楽の多様性について理解し、歌唱・器楽・創作において創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。
（２）アンサンブルに関心を持ち旋律の動きやリズムの特徴の変化を知覚し、表現したい音楽をイメージしてどのように演奏するかについて表現意図を持って取り組む。また協調性を高め一緒に作り上げていく思考力を高めていく。
（３）主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽や音楽文化に関心を持ち、演奏する喜びを味わい主体的に取り組み演奏だけでなく鑑賞することで曲の美しさを感受して聴く力を身につける。また音楽が生涯において心の支えになり、生きていく力となる事をめざす。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的、歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。（知識） ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。（技能）	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えている。また自己のイメージをもってどのように表すかについて表現意図を持ち、音楽を評価しながら良さや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	豊かな声で歌いあげよう	【歌唱】 アンサンブル2重唱 「見上げてごらん夜の星を」 「ふるさと」	a: :表現したいことを伝えるための、歌唱の技能を身に付けている。 b:歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現する意図をもっている。 c:歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に、主体的に取り組もうとしている。	演奏の聴取	演奏の聴取 ワークシート	授業観察 ワークシート
	器楽アンサンブルを楽しもう	【器楽】 ギターメロディ2重奏 「なごり雪」 「卒業写真」	a:ギター譜を読譜し、表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。 b:楽器の特徴をとらえ、曲に沿った表現を工夫している。 c:アンサンブルに関心をもち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。	演奏の聴取	演奏聴取 ワークシート	授業観察 ワークシート
	基礎知識を深めよう	【音楽理論】 1.　音名と譜表 2.　音符と休符 3.　拍子 4.　音程 5.　調音	a:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを理解しながら、音楽に対する理解を深めている。 b:音から楽譜への変換を自分なりに工夫して読み取る。 c:音楽や楽譜に関心をもち、音楽理論の学習に主体的に取り組もうとする。	ワークシート	ワークシート	授業観察 ワークシート
	合唱を楽しもう	【合唱】 「あなた」(混声3部) (文化祭発表を行う)	a:イメージをもって合唱するために必要な歌唱の技能（発声、言葉の発音、呼吸法、姿勢や身体の使い方）を身に付けている。 b:旋律、ハーモニーを知覚し、どのように歌うかについて表現する意図をもっている。 c:協力し合い合唱に主体的に取り組もうとしている。	演奏の聴取	演奏の聴取 ワークシート	授業観察 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

後期	表情豊かに歌おう	【歌唱】 原語 「オーシャンゼリゼ」 「オンブラ・マイ・フ」 「オペラ座の怪人」	a:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。 b:音楽の要素を知覚し、曲種に応じた発声の特徴を生かした表現を工夫して表現する意図をもっている。 c:曲想と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	演奏の聴取	演奏の聴取 ワークシート	授業観察 ワークシート
	表現を創り出してみよう	【創作】 CUPS(リズム) グループに分かれて基本リズムを基に1曲創作する。	a:　基本リズム理解しより効果的に発展させている。 ｂ:音楽を形づくっている要素を知覚、感受しながらそれらの価値を考え音楽に対する理解を深め美しさを創造的にイメージできている。 ｃ:音楽の種類とそれぞれの特徴に関心をもち主体的に創作に取り組もうとしている。	演奏の聴取	演奏の聴取 ワークシート	授業観察 ワークシート
	表現豊かに発表しよう	【器楽】グループ発表 ・ギター ・ピアノ ・鍵盤楽器 ・打楽器 ・うた ・ハンドベル の中から選択	a:各楽器の基礎的な演奏技能を身に付け、創造的に表現している。 b:楽器の特徴を感受しながら、同じグループのメンバーと共に表現を工夫している。 c:各楽器の基礎的な奏法の特徴に関心をもち、主体的に取り組もうとしている。	演奏の聴取	演奏の聴取 ワークシート	授業観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度